

この「広報ひこね」は48,400部作成し、1部当たりの単価は10円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

**両生類・は虫類の目撃情報をお寄せください
彦根市で大切にすべき野生生物「レッドデータブックひこね」の改訂に向けて**

彦根市では、平成17年3月に「彦根市で大切にすべき野生生物「レッドデータブックひこね」」を発刊しました。このレッドデータは、市内において守るべき生物、自然環境、自然的財産を示し、市内における生物多様性の保全を図っていくうえで重要な役割を果たすものです。

も対応していく必要があります。現在、レッドデータの改訂に向けて作業を進めていますが、今回の改訂では、新たに「両生類」、「は虫類」の生息状況を掲載するため調査を進めています。

両生類やは虫類の中には、専門的知識がなくても簡単に判別できる種があります。今回、左の6種について、目撃情報をお寄せください。情報提供は12月24日(金)までとします。

情報提供内容 名前、目撃した場所、年月日、(できるだけ細かく)情報提供者の住所・氏名・連絡先

▼6種以外の両生類・は虫類の情報もお寄せください。提供は、写真、撮影した場所と年月日、情報提供者の住所・氏名・連絡先を記載して情報をお寄せください。

▼目撃情報については、死んでいる個体についても結構です。

▼過去の情報で詳しい内容のものがあればお寄せください。

問い合わせ先・情報提供先 快適環境づくりをすすめる会事務局(両生活環境課内) ☎30-6116番、FAX 27-03095番

表紙の写真

高宮町無賃橋付近の犬上川河川敷で行われた高宮納涼花火大会は、今年で98回を数える歴史ある花火大会です。今年も、約28,000人が詰めかけ、打ち上げ花火やスターマインなど、夜空を彩る約3,950発の花火を楽しみました。

また、花火大会の翌日には、彦根中学校の生徒の皆さんや、地域の皆さんが、会場周辺の清掃を行いました。

両生類

アカハライモリ

大きさは7~13cm。背中や黒色または黒褐色で、お腹には赤色地に黒斑がある。田んぼや池沼、小川などにすむ。



モリアオガエル

5月~7月にかけて水辺上部にある木や障害物などに泡状の卵塊を産む。
※木の上などに産み付けられていた泡状の卵の目撃情報をお寄せください。

は虫類

ニホンヤモリ

大きさは10~14cm。体色は灰色や褐色。民家の壁や窓にくっついていることが多い。



ニホンカナヘビ

大きさは16~27cm。尾は長く、全体の2/3を占める。体には光沢がなく茶褐色で、カサカサして乾いた感じに見える。



ニホントカゲ

大きさは20~25cm。小さい時と少し育ったメスは尾が青色で背中に5本線が入る。オスは成長すると体が褐色になり、初夏には、ほおの辺りがオレンジ色になる。体は光沢があり、ツルツルした感じに見える。



ニホンスッポン

大きさは25~30cm。ほかのカメとは異なり、甲羅は軟らかい。鼻の先端が長く伸びて、水上にこの部分を出し、呼吸する。



人口と世帯数

平成22年7月1日現在

人口	111,659人 (+ 63)
男	55,017人 (+ 15)
女	56,642人 (+ 48)
世帯数	43,153世帯 (+ 95)

()内は前月との比較



「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用し、印刷は有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。廃棄する場合には古紙回収に出してください。